

“素敵な思い出”

瀬尾 あゆみ

「ハ・・・ハロー!!」ホームステイに出発する3日前、少し緊張しながら、私は国際電話をかけました。電話番号を押して、コール音を聞いている間『大丈夫かな？上手に話せるかな?』という気持ちでいっぱいでした。けれど、私のホストファミリーのアマンダはゆっくりそして大きな声で、一言一言話してくれました。話しているうちに会話はどんどんはずみ、互いに質問しあったりもしました。初めは不安と緊張でいっぱいだった心が、アマンダと会話をしていくうちに「早く会いたい!!」という気持ちになりました。グアムホームステイへの第一歩は、私に大きな期待と自信を与えてくれました。

ホームステイ1日目、グアム空港に着いて、ドキドキしながらグアムのホストファミリーの所へ行きました。「Hello,Ayumi!!」と呼ばれたほうを見ると、そこには笑顔のアマンダがいました。アマンダの手には、“Welcome to GUAM Ayumi !!”と書かれた大きな紙があり、私も“Hello Amanda!!”と書いた紙を持ってきていたので、互いに見せ合いました。会ってすぐに私達は笑い合い仲良くなりました。ホストファミリーと行った恋人岬では、海を見たり、写真を撮ったりしてとても楽しかったです。その後、私とアマンダ、アマンダのお母さんはナイトマーケットへ行きました。ナイトマーケットは日本でいう‘夏祭り’のようなもので、多くの人が集まっていました。レッドライスやシシカバブ、ココナッツなどの食べ物やボージョーボー人形やラッテストーンの置物など、グアムのお土産や食べ物がありました。アマンダは私を色々な所に連れて行ってきて、お土産や食べ物について色々教えてくれたので、とても楽しむことが出来ました。

2日目、3日目はセントフランシススクールで授業を受けました。セントフランシススクールは私の学校と違って1階だけでした。授業によって教室を移動するというにも驚きました。アマンダのクラスメイトは優しく、とてもフレンドリーな子ばかりでした。休み時間にはクラスの子たちと写真を撮ったり、しゃべったり、遊んだりしました。給食中はみんなしゃべらず、ほんとにびっくりする位静かでした。アマンダに「どうしてなの？」と聞くと、「宗教だからだよ。みんなしゃべらないんだ。」と教えてくれました。私の身近でそういうことを体験したことがなかったため、はじめは‘なぜ?’と、とても不思議でした。疑問がたくさんあって大変でしたが、アマンダやクラスの子が、ゆっくりわかりやすく説明してくれたので、理解することが出来ました。そして、そんなささいな優しさがとても嬉しかったです。

4日目、5日目はホストファミリーとのフリータイムでした。ファミリーのみんなは、“どうすれば私が喜んでくれるか”といつも考えてくれていました。その心がうれしくて、アマンダが柏に来た時には私のように楽しかった、と思ってもらえるようにしたいな、と思いました。

ホームステイ最終日は『もう今日帰ってしまうんだ』と悲しい気持ちになりましたが、ホストファミリーが私にしてくれた1つ1つの優しい心づかいに感謝の気持ちを込めて、最後まで笑顔で楽しもう、と思いました。グアムの空港で、「日本で待ってるよ!!」とアマンダに言った時、本当は別れることが悲しくて泣きそうでしたが、最後まで笑顔で手を振りました。

今回のこの経験は、私のこれからの成長の大きな一歩になりました。英語は少しわからない所がありましたが、多くの人に支えられ、たくさんの人の優しさに触れたこと、その1つ1つが私にとって、とても素晴らしい経験になりました。今まで体験したことのないこの素晴らしい経験ができたのは、沢山の人の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

私はこのグアムホームステイで多くのことを学びました。ただ学んだだけではなく、沢山の素敵な思い出も作りました。私達の次の人、そしてその次の人にもこの体験の楽しさを知ってほしいと思います。

私はこの素晴らしい体験をいつまでも忘れません。

支えて下さったグアム委員会の皆さん、松本さん、槌尾さん、そして、両親にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

